

エジンバラ大学滞在記

和田昌子

MSc by Research

Centre for Infectious Diseases

Royal (Dick) School of Veterinary Studies

The University of Edinburgh

私が1年間ほど滞在しているエジンバラは、イギリスのスコットランドの州都です。イギリスではロンドンに次いで2番目に人気のある観光都市だそうです。普段はとても静かで落ち着いた雰囲気のある街です。



左：エジンバラ城から望む街の眺め。右：ポビー（エジンバラのハチ公）周辺。



上：Summerhallの外観

エジンバラ大学のキャンパスは、街の中心から少し南寄りにあります。このあたりには学生がたくさん住んでいて、学生向けのカフェやパブがたくさんあります。エジンバラの人は学生に優しくて、いろいろな店で学割が使えます。学生街をさらにまっすぐ南に突き進んで行くと、私の研究室のあるキャンパス、Summerhall があります。Summer Hall という名前の感じとは程遠く、歴史の古い重厚な建物で、近々取り壊されるんじゃないかと囁かれています。私は Summerhall が気に入っています。古いものこそ美しいというヨーロッパ的な感覚が移ってきたというのもあるかもしれませんが、獣医学部のキャンパスは、ここ Summerhall の他、バスで30分以上行った街外れの牧場の中にある Easter Bush というキャンパスもあり、Easter Bush まで通うのはとても大変なのです。

イギリスの学生生活は、日本とはだいぶ異なります。イギリスの学生はとても自由で自立しています。学生は、大学には好きなときに来て好きなときに帰って行きますし、大学にあまり来ない学生もいます。でも学生は皆、自己責任で自分の研究を進めていきます。社会経験を積んだ学生が多いためか、学問への志は非常に高いです。家庭を持っている学生、仕事と両立している学生、帰省中の学生、年齢、宗教、国籍など様々ですが、イギリスでは違いを



個性として自然に受け入れているところがとてもいい所だと思います。私の研究室のメンバーは、半分くらいがイギリス出身者で、あと半分は留学生です。留学生は、ウガンダ、ザンビア、タンザニア、ナイジェリア、エジブ

ト、クウェート、パキスタン、タイ、そして日本（私）と、国籍も宗教も様々ですが、皆仲良く生活しています。

上：研究室のメンバー